

■ 建設部

I 実り多い産業と人々の集うまちづくり

§ 1 地域の特色を活かした土地利用を進めるまちづくり

- 地籍管理事業 【地籍調査実績の更新と管理】 No.1-1

§ 2 人が行き交う道路・交通ネットワークづくり

- 道路維持管理事業 【地区要望の道路改修】【道路・橋梁長寿命化】 No.2-2
- 合併特例事業 【生活上の基礎的な基盤整備】 No.2-3
- 砂原橋架替・周辺道路整備事業 【幹線道路網の整備】 No.2-4
- 重○ 労報橋及び周辺道路整備事業 【幹線道路網の整備】 No.2-5

§ 3 機能的で魅力ある市街地づくり

- サイン整備事業 【観光等情報発信看板設置】 No.3-9
- 石和温泉駅周辺施設維持管理事業 【駅周辺施設の快適な利用】 No.3-10

II 環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり

§ 8 災害に強い安全な備えづくり

- 重○ 富士見地区道路冠水対策事業 【道路冠水地区の解消】 No.8-5
- 浸水対策事業 【浸水常習地区の解消】 No.8-6
- 水防事業 【水害時の対策】 No.8-7
- 木造個人住宅耐震診断・耐震化支援事業 【地震による家屋の倒壊を防ぐ】 No.8-8

§ 10 快適で暮らしやすい生活環境づくり

- 空家等対策推進事業 【空家の把握、管理指導、活用促進】 No.10-19
- 河川水路整備事業 【河川の維持・改修】 No.10-20
- 用地管理事業 【公共物の占用及び管理】 No.10-21
- 市営住宅維持管理事業 【入居者管理と施設長寿命化】 No.10-22
- 重○ 市営住宅四日市場団地建替事業 【市営住宅の安全性の確保】 No.10-23

§ 12 憩いと癒しの空間づくり

- 公園維持管理事業 【公園施設の快適な利用】 No.12-36

事務事業名	1-1 地籍管理事業					部局名	建設部	所属課	管理総務課
施策名	1	地域の特色を活かした土地利用をすすめるまちづくり				担当名	地籍担当	課長名	標 博司
法令根拠	国土調査法					個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)	
	01	06	01	06	10	01			

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績)	
◇事務事業の概要と実績 地籍調査終了地区の地図管理を行う。 ・地籍調査終了地区における分合筆等の地図訂正 ・土地情報システムの維持管理及び分合筆等移動データの更新 ・土地情報システムにより地図データを提供する	◇主な事業費(単位:千円) 旅費 64 需用費 3 委託料 16,201 備品購入費 292 負担金、補助及び交付金 12

(2) 総事業費の推移		単位	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算見込み)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	11,868	15,921	18,212	22,608	16,572
	事業費計 (A)	千円	11,868	15,921	18,212	22,608	16,572	
	人件費	正規職員延従事人数	人	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
	人件費計 (B)	千円	7,962	8,232	8,232	8,358	8,358	
トータルコスト(A)+(B)		千円	19,830	24,153	26,444	30,966	24,930	
補助事業等								

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載	
1次評価者【課長・局長】 国土調査法に基づき、地籍調査事業の成果を基に土地の移動や更新、訂正を行っているものであり、今後も適正に事業を執行する必要がある。	
2次評価者【部長・消防長・支所長】 地図訂正、未認証地区の解消は、地図管理を行なう上で重要な課題で今後も継続して事業を進める。	
(2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)	
目標 分合筆及び権利異動等8,000件、地図訂正20件 ○ 目標どおり達成できた ● おおむね達成できた ○ 達成できなかった 地図訂正件数は目標に届かなかったが、必要な処理は年度内に行うことができた。	

事務事業名	2-2 道路維持管理事業					部局名	建設部	所属課	土木課
施策名	2	人が行き交う道路・交通ネットワークづくり				担当名	建設担当	課長名	角田和仁
法令根拠	道路法					個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)	
	01	08	02	02	10	01			

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績)	
◇事務事業の概要と実績 地区からの市道の補修等の要望に対し、要望の精査をするとともに、予算の範囲内で緊急度や危険度を考慮し優先順位をつけ、適切な工事を施工する。 橋梁の点検を行い、計画的に修繕・改修を行う。	◇主な事業費(単位:千円) ・需用費 14,427 ・委託料 95,000 ・工事費 411,000 ・原材料 6,453 ・用地費 1,000 ・補償費 1,500 ※繰越事業費平成28年度 ⇒ 平成29年度64,448千円 平成29年度 ⇒ 平成30年度 166,820千円

(2) 総事業費の推移		単位	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算見込み)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	38,452	34,495	118,271	41,101	223,850
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	25,500	42,700	147,300	92,100	259,900	
		その他	千円	1,850	0	0	76	1,133	
		一般財源	千円	347,270	383,420	361,310	366,171	226,392	
	事業費計 (A)	千円	413,072	460,615	626,881	499,448	711,275		
	人件費	正規職員延従事人数	人	2.90	3.00	3.00	3.00	3.00	
	人件費計 (B)	千円	19,242	20,580	20,580	20,895	20,895		
トータルコスト(A)+(B)		千円	432,314	481,195	647,461	520,343	732,170		
補助事業等									

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載	
1次評価者【課長・局長】 地区からの市道の補修等の要望に対し、要望の精査をするとともに、予算の範囲内で緊急度や危険度を考慮し優先順位をつけ、適切な工事を施工する。	
2次評価者【部長・消防長・支所長】 毎年各地区からの要望は相当数有り対応できず翌年度への繰り越しとなっている、要望内容を精査し適切な施工を行う。また、橋梁長寿命化計画に基づき重要橋梁から順次耐震工事を行う。	
(2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)	
目標 便利で暮らしやすい生活環境づくりの基盤を確保する ○ 目標どおり達成できた ● おおむね達成できた ○ 達成できなかった	
国庫補助金が要望どおり付かなかつたため、補助金からみの一部の工事が実施できなかったが、地区要望対応等、予算の範囲内では適切に対応することができた。	

事務事業名	2-3 合併特例事業					部局名	建設部	所属課	土木課
施策名	2	人が行き交う道路・交通ネットワークづくり				担当名	建設担当	課長名	角田和仁
法令根拠	市町村の合併の特例に関する法律					個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	期間限定複数年度(H17年度～H31年度)	
	01	08	02	03	10	02			

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績)

◇事務事業の概要と実績

各地区から市道改良の要望を受け精査し事業計画を立て整備を行っていく。
新設・改良、市道の用地取得をし、整備する事業。

◇主な事業費(単位:千円)

- ・委託料 20,642
- ・工事請負費 42,725
- ・公有財産購入費 2,037
- ・補償費 3,777
- ※繰越事業費平成28年度 ⇒ 平成29年度7,500千円
平成29年度 ⇒ 平成30年度39,338千円

(2) 総事業費の推移		単位	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算見込み)	
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	16,500	7,700	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	225,000	233,600	130,500	66,400	65,700
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	40,187	12,409	7,573	12,716	3,481
		事業費計 (A)	千円	281,687	253,709	138,073	79,116	69,181
人件費	正規職員延従事人数	人	6.80	3.00	3.00	3.00	3.00	
	人件費計 (B)	千円	45,118	20,580	20,580	20,895	20,895	
トータルコスト(A)+(B)		千円	326,805	274,289	158,653	100,011	90,076	
補助事業等								

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載

1次評価者【課長・局長】

全体の要望量からすると地区要望予算については極めて厳しい状況であるため、要望の一部しか対応できていない。優先順位をしっかりと立て、限られた予算を有効に活用していかなければならない。

2次評価者【部長・消防長・支所長】

地区要望は生活に密着した事業だが限られた予算のため、現地確認等総合的に判断し、効率的な施工を行う。

(2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)

目標 整備計画を立て、市道の新設・改良を行なう。

○ 目標どおり達成できた ● おおむね達成できた ○ 達成できなかった

一部の工事において翌年度へ繰越さなければならなくなったが、予算の範囲内でほぼ計画通りの事業が実施できた。

事務事業名	2-4 砂原橋架替・周辺道路整備事業					部局名	建設部	所属課	土木課
施策名	2	人が行き交う道路・交通ネットワークづくり				担当名	建設担当	課長名	角田和仁
法令根拠	道路法、河川法					個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	期間限定複数年度（H21年度～H30年度）	
	01	08	02	03	50・70	2・3			

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績)	
◇事務事業の概要と実績 地方道路整備臨時交付金による事業予算 ・市内へのアクセス向上、幹線道路整備のため市道石和13号線を道整備交付金により整備する。 ・市道の測量設計、用地取得、改良工事施工。	◇主な事業費(単位:千円) 砂原橋右岸(橋梁を含む)側 ・委託料 21,915 ・賃借料 1,174 ・工事請負費 83,190 ・公有財産購入費 22,573 ・補償費 7,326 砂原橋左岸側 ・工事請負費 53,573 ・公有財産購入費 11,443 ・補償費12,450 ※繰越事業費平成28年 ⇒ 平成29年度 52,015千円 平成29年 ⇒ 平成30年度 180,000千円

(2) 総事業費の推移		単位	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算見込み)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	212,479	237,680	189,714	32,394	63,128
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	219,200	190,300	209,900	43,400	141,800	
		その他	千円	0	0	0	3,469	0	
		一般財源	千円	67,204	11,700	61,347	81,737	8,716	
	事業費計 (A)	千円	498,883	439,680	460,961	161,000	213,644		
人件費	正規職員延従事人数	人	1.00	1.00	1.20	1.20	1.20		
	人件費計 (B)	千円	6,635	6,860	8,232	8,358	8,358		
トータルコスト(A)+(B)		千円	505,518	446,540	469,193	169,358	222,002		
補助事業等									

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載	
1次評価者【課長・局長】	市内各地域のアクセス向上のための幹線道路網整備、安全かつ円滑に通行できるよう整備する。
2次評価者【部長・消防長・支所長】	合併前より課題となっていた事業で、供用開始後には新山梨環状道路と笛吹八代スマートインターチェンジが連絡道となり、石橋工業団地へのアクセスも向上する重要路線として位置づけられる。
(2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)	
目標	用地取得を全て完了し、残る工事について着手する。
	○ 目標どおり達成できた ● おおむね達成できた ○ 達成できなかった
	すべての用地取得は完了できず工事も契約繰越となったが、予定事業はほぼ実施できた。

事務事業名	2-5 労報橋及び周辺道路整備事業					部局名	建設部	所属課	土木課
施策名	2	人が行き交う道路・交通ネットワークづくり				担当名	建設担当	課長名	角田和仁
法令根拠	道路法					個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	期間限定複数年度(H16年度～H30年度)	
	01	08	02	03	70	01			

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績)									
◇事務事業の概要と実績			◇主な事業費(単位:千円)						
石和温泉駅と石和温泉郷を結ぶルートに位置し、今後笛吹市の市民が集う憩いの場所になるであろう「ふえふきみんなの広場」の周辺を、ボトルネックとなっていた労報橋と一体として整備することにより、活性化を図る。			・委託料 5,421 ・賃借料 128 ・工事請負費 189,273 ・原材料費 2,287 ・公有財産購入費 53,430 ・補償費 1,170 ※繰越事業費 平成28年 ⇒ 平成29年度 60,433千円 平成29年 ⇒ 平成30年度 65,000千円						
(2) 総事業費の推移		単位	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算見込み)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	13,200	22,833	38,940
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	16,300	25,300	202,000	
		その他	千円	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	1,498	76,559	10,769	
	事業費計 (A)	千円	0	0	30,998	124,692	251,709		
人件費	正規職員延従事人数	人	0.00	0.00	0.50	0.80	0.80		
	人件費計 (B)	千円	0	0	3,430	5,572	5,572		
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	34,428	130,264	257,281		
補助事業等									

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載	
1次評価者【課長・局長】 労報橋の架け替えを平成29年度には完了し、平成30年度には「ふえふきみんなの広場」北側・東側の整備を終え、周辺道路事業の完了を目指し取り組んでいる。石和温泉駅と温泉旅館街を結ぶ市道整備の要となる労報橋周辺道路の整備は、当該地域周辺のみならず、笛吹市観光産業に大いに貢献できるものであると共に、石和温泉駅への通勤通学利用者にとって渋滞緩和のための重要な事業と考える。	
2次評価者【部長・消防長・支所長】 長年の懸案であった労報橋の架け替えとふえふきみんなの広場の周辺道路整備を行うことにより、道路利用者の利便性向上と観光振興へも貢献できる。	
(2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)	
目標 労報橋の架替工事を完成させる。	
● 目標どおり達成できた ○ おおむね達成できた ○ 達成できなかった	
労報橋の架け替えと共に、「ふえふきみんなの広場」の外周計画を策定した。	

事務事業名	3-9 サイン整備事業					部局名	建設部	所属課	まちづくり整備課
施策名	3	機能的で魅力ある市街地づくり				担当名	計画指導担当	課長名	神宮寺 隆
法令根拠						個別計画	笛吹市サイン計画		
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H25年度～)	
	01	08	04	01	200	01			

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績)	
◇事務事業の概要と実績 ・市の観光、歴史、自然、公共施設等の情報を市民や来訪者にわかりやすく、正確に伝えるため、公共サインのデザインの統一、設置を行う。 ・御坂トンネル坑口駐車場にサインを設置する	◇主な事業費(単位:千円) 工事請負費 6,850

(2) 総事業費の推移		単位	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算見込み)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	5,286	5,505	3,982	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	4,100	4,400	3,000	6,500	
		その他	千円	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	4,915	226	579	1,234	350	
	事業費計 (A)	千円	4,915	9,612	10,484	8,216	6,850		
	人件費	正規職員延従事人数	人	0.20	0.40	0.40	0.40	0.40	
	人件費計 (B)	千円	1,327	2,744	2,744	2,786	2,786		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	6,242	12,356	13,228	11,002	9,636		
補助事業等		社会資本整備総合交付金事業							

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載	
1次評価者【課長・局長】 ・サイン計画に基づき公共サインの設置が進めているが、補助金がなくなり、今年度から1カ所の設置となる。予定しているサイン設置を進めるとともに、すぐわない既存工作物については撤去を進めていきたい。	
2次評価者【部長・消防長・支所長】 笛吹市サイン計画により、市民や来訪者に分かりやすいサイン設置が求められ、主要な場所への外国人観光客にも対応した案内板の設置を行なっていく。	
(2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)	
目標 情報スポット1基、ウェルカム広場サイン3基の設置 ○ 目標どおり達成できた ○ おおむね達成できた ● 達成できなかった	
・設置を予定していた社会資本整備交付金の補助が得られず予定していた設置数を1箇所にしたため達成できなかった。今後もサイン計画に従い整備費を確保して進めていく。	

事務事業名	3-10 石和温泉駅周辺施設維持管理事業					部局名	建設部	所属課	まちづくり整備課
施策名	3	機能的で魅力ある市街地づくり				担当名	都市整備担当	課長名	神宮寺 隆
法令根拠						個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H27年度～)	
	01	08	04	01	22	01			

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績)	
◇事務事業の概要と実績 ・市の鉄道の玄関口として整備した駅周辺施設の利用者が安全安心で快適に利用できるような適切な維持管理を行う。 ◇昇降設備保守管理委託 ◇施設・広場芽設備などの清掃業務委託 ◇駐車場・広場植栽などの管理業務の委託や施設の清掃業務を委託する。 ◇施設の改修などを行う。	◇主な事業費(単位:千円) ・需用費 4,525 ・委託費 10,416 ・工事請負費 5,149

(2) 総事業費の推移		単位	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算見込み)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	80	0	2,000
		一般財源	千円	0	0	5,174	19,054	260,611
	事業費計 (A)	千円	0	0	5,254	19,054	262,611	
	人件費	正規職員延従事人数	人	0.00	0.00	0.60	0.60	0.60
	人件費計 (B)	千円	0	0	4,116	4,179	4,179	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	9,370	23,233	266,790	
補助事業等								

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載	
1次評価者【課長・局長】 駅舎・南北自由通路・北口広場の完成から2年目になり維持管理の手法が固まりつつある。また、利用者アンケートやバリアフリー等の意見を反映した使いやすさを求める改良や駅名の看板の設置などを行った。今後も有効な利用方法を考え玄関口としての活用をすすめるとともに効率的な維持管理をしていく。	
2次評価者【部長・消防長・支所長】 市の鉄道の玄関口として、利用者の意見を取り入れ駅舎の整備を行なった。周辺施設も併せて、より快適に利用できるような改善を進め、維持管理を行なっていく。	
(2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)	
目標 駅北口の利用の増加(北口駐車場の利用回数の前年対比)	
○ 目標どおり達成できた ● おおむね達成できた ○ 達成できなかった	
・一部の宿泊施設やハイスクールバスの出迎えの利用や、北口ロータリーを利用した地区のお祭りの開催などに利用された。 ・H28.3月～H29.2月の1年間の利用は9,563回、H29.3月～H30.2月の1年間の利用は12,430回。	

事務事業名	8-5 富士見地区道路冠水対策事業					部局名	建設部	所属課	土木課
施策名	8	災害に強い安全な備えづくり				担当名	建設担当	課長名	角田和仁
法令根拠	道路法					個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	期間限定複数年度(H26年度～H29年度)	
	01	08	02	03	70	05			

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績)	
◇事務事業の概要と実績 道路冠水の常習地区である石和町富士見地区の道路ネットワークの安全性・信頼性を確保するための事業。	◇主な事業費(単位:千円) ・工事請負費 216,000 ※繰越事業費 平成28年 ⇒ 平成29年度 80,000千円

(2) 総事業費の推移		単位	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算見込み)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	12,750	11,464	111,610
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	28,300	16,100	99,100
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	1,591	80,876	5,290
	事業費計 (A)	千円	0	0	42,641	108,440	216,000	
	人件費	正規職員延従事人数	人	0.00	0.30	0.30	0.50	0.20
	人件費計 (B)	千円	0	2,058	2,058	3,483	1,393	
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	2,058	44,699	111,923	217,393	
補助事業等								

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載	
1次評価者【課長・局長】 道路冠水の常習地区である石和町富士見地区の道路ネットワークの安全性・信頼性を確保するための事業であり、今年度はポンプ整備等、事業の完成を図った。	
2次評価者【部長・消防長・支所長】 富士見地区からの強い要望の長年の懸案事業で年度内にポンプ整備等工事が完成し、地域の安全・安心への備えが確保された。	
(2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)	
目標 ポンプ及び水路ネットワーク整備工事 ● 目標どおり達成できた ○ おおむね達成できた ○ 達成できなかった 年度内に予定する整備工事の完成が図れた。	

事務事業名	8-6 浸水対策事業					部局名	建設部	所属課	土木課
施策名	8	災害に強い安全な備えづくり				担当名	建設担当	課長名	角田和仁
法令根拠	道路法					個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	期間限定複数年度(H22年度～H29年度)	
	01	08	02	03	10	03			

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績)	
◇事務事業の概要と実績 境川町大坪地区における雨水及び笛吹川からの逆流による常習浸水の安全対策のため調整池等の整備を行なう。	◇主な事業費(単位:千円) ・使用料 482 ・工事請負費 182,850 ※繰越事業費平成28年 ⇒ 平成29年度 260,820千円 平成29年 ⇒ 平成30年度 160,000千円

(2) 総事業費の推移		単位	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算見込み)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	115,900	91,700	255,600	600	173,700
		その他	千円	8,015	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	4,848	21,330	102	183,332
	事業費計 (A)	千円	123,915	96,548	276,930	702	357,032	
人件費	正規職員延従事人数	人	0.50	0.80	0.80	0.80	0.80	
	人件費計 (B)	千円	3,318	5,488	5,488	5,572	5,572	
トータルコスト(A)+(B)		千円	127,233	102,036	282,418	6,274	362,604	
補助事業等								

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載	
1次評価者【課長・局長】 盛土材仮置き場として利用され、残土の流用を行い他事業と連携しながら事業を進めることで事業費用の削減効果はあったが、事業効果の発現が遅れが出てしまった。	
2次評価者【部長・消防長・支所長】 境川町大坪地区の浸水による市民への安全対策として重要事業で、年次計画により事業を進めており早期の完成が望まれる。	
(2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)	
目標 調整池の整備工事の完成。 ○ 目標どおり達成できた ○ おおむね達成できた ● 達成できなかった	
平成29年度においても大雨の影響で工事の工程に遅延が生じ、一部の工事を翌年度へ繰越さなければならなかったが、もう少し工程などに工夫・改善の余地があったように思える。	

事務事業名	8-7 水防事業					部局名	建設部	所属課	土木課
施策名	8	災害に強い安全な備えづくり				担当名	総務用地担当	課長名	角田和仁
法令根拠	水防法					個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)	
	01	09	01	04	10	01			

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績)

◇事務事業の概要と実績

市内の河川等の洪水による水害を警戒し、被害を軽減するため、水防用具の整備、充実を図り、地区に設置してある水防倉庫の管理を行い、水害時には迅速に対応する。
また、水防計画書を作成し水害時の対応に備える。
一級河川の流水を阻害する河道内伐木作業を実施する。

◇主な事業費(単位:千円)

- 8.報償費 13
- 11.需用費 2,035
- 12.役務費 901
- 13.委託料 1,525
- 14.使用料及び賃借料 2,414
- 16.原材料費 1,188

(2) 総事業費の推移		単位	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算見込み)
投入量	事業費	財源内訳					
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,839	4,891	5,499	5,453	4,101
	事業費計 (A)	千円	5,839	4,891	5,499	5,453	4,101
人件費	正規職員延従事人数	人	2.05	2.00	2.00	2.00	2.00
	人件費計 (B)	千円	13,602	13,720	13,720	13,930	13,930
トータルコスト(A)+(B)		千円	19,441	18,611	19,219	19,383	18,031
補助事業等							

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載

1次評価者【課長・局長】

迅速な水防活動を実施する為には、資機材整備や水防計画書の整備が重要となることから、日ごろから定期的な整備・更新に努めている。

2次評価者【部長・消防長・支所長】

近年、異常気象による集中豪雨で河川の氾濫や土砂災害が多発しており、災害発生時には水防資材の確保、関係機関との連携、迅速な職員の出動態勢が必要となる。

(2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)

目標 水害被害の防止、軽減を図る。

○ 目標どおり達成できた ● おおむね達成できた ○ 達成できなかった

水防資材の整備は計画的に実施できた。また定期的な1級河川内の伐木作業が実を結んだものなのか、県による1級河川内伐木作業の進捗が図られた。

事務事業名	8-8 木造個人住宅耐震診断・耐震化支援事業					部局名	建設部	所属課	まちづくり整備課
施策名	8 災害に強い安全な備えづくり					担当名	計画指導担当	課長名	神宮寺 隆
法令根拠	建築物の耐震改修の促進に関する法律					個別計画	笛吹市耐震促進計画		
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	期間限定複数年度(H16年度～H32年度)	
	01	08	04	01	60・70	10			

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績)									
◇事務事業の概要と実績				◇主な事業費(単位:千円)					
・昭和56年5月以前に着工建築された木造個人住宅の耐震化を推進するため、耐震診断・耐震改修等への支援を行う。 ・耐震診断戸数 39 ・耐震改修設計戸数 5 ・耐震改修戸数 7 ・耐震退化絵戸数 14 ・シェルター設置戸数 0				・委託料 1,725 ・補助金 14,668					
(2) 総事業費の推移		単位	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算見込み)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	8,419	4,592	5,827	3,804	6,170
		県支出金	千円	3,785	2,396	2,013	3,778	4,732	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	7,036	3,797	5,015	3,674	5,491	
	事業費計 (A)	千円	19,240	10,785	12,855	11,256	16,393		
人件費	正規職員延従事人数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30		
	人件費計 (B)	千円	1,991	2,058	2,058	2,090	2,090		
トータルコスト(A)+(B)		千円	21,231	12,843	14,913	13,346	18,483		
補助事業等		社会資本整備総合交付金事業、県補助金(わが家の耐震診断、わが家の耐震化)							

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載						
1次評価者【課長・局長】						
毎年重点地域を決めて250～300戸を訪問して耐震化の説明を行うことで、大勢の方が興味をもたれるが、いざ耐震化となると、補助があるとはいえ多額の自費を投じなければならないので、その先への進み方はスムーズではない。しかしながら住宅の耐震化は災害時には生命に関することなので辛抱強く勧めていきたい。						
2次評価者【部長・消防長・支所長】						
個人住宅の耐震化は、地震による家屋の倒壊、人命や財産を守るために重要で、多くの市民に周知し、活用していただくよう継続して行く。						
(2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)						
目標	耐震診断戸数 60戸					
<input type="radio"/> 目標どおり達成できた <input type="radio"/> おおむね達成できた <input checked="" type="radio"/> 達成できなかった						
これまでの状況は、	耐震診断	耐震改修設計	耐震改修	耐震建替	シェルター設置	
H27	46戸	6戸	3戸	18戸	0	
H28	56戸	5戸	6戸	8戸	1戸	
H29	39戸	5戸	7戸	14戸	0	

事務事業名	10-19 空家等対策推進事業					部局名	建設部	所属課	まちづくり整備課
施策名	10	快適で暮らしやすい生活環境づくり				担当名	都市整備担当	課長名	神宮寺 隆
法令根拠	空家等対策の推進に関する特別措置法					個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H27年度～)	
	01	08	04	01	230	01			

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績)	
◇事務事業の概要と実績 ・空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、空家等の実態把握を行い個人住宅空家台帳整備し、市の空家等対策計画を策定、開き家等対策協議会を設置して、周辺住民の生活環境の保全のために、適切な管理の行われていない空家等の所有者に対する指導・勧告等の措置を行う ・H29年度は「笛吹市空家等対策計画」を策定する	◇主な事業費(単位:千円) ・備品購入費 234

(2) 総事業費の推移		単位	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算見込み)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	2,500	0
		県支出金	千円	0	0	0	2,181	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	1,912	4,121	266	
	事業費計 (A)	千円	0	0	1,912	8,802	266		
	人件費	正規職員延従事人数	人	0.00	0.00	0.30	0.30	0.30	
	人件費計 (B)	千円	0	0	2,058	2,090	2,090		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	3,970	10,892	2,356		
補助事業等		社会資本整備総合交付金事業							

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載	
1次評価者【課長・局長】 ・住民からの管理不足の周辺空き家の苦情などに対応を行うなどの業務は継続的に行われている。H30.3月の「笛吹市空家等対策計画」の策定により、専門知識を持つ委員による「笛吹市空家等対策協議会」をH30年度には設置して、特定空家等の対応を進めていく。	2次評価者【部長・消防長・支所長】 空家周辺の住民生活環境の保全のため、適切に管理の行なわれていない空家の所有者に対し、利活用を含め、指導・勧告等の措置を行なっていく。
(2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)	
目標	「笛吹市空家等対策計画」の策定する
	○ 目標どおり達成できた ● おおむね達成できた ○ 達成できなかった
	・H30.3月に「笛吹市空家等対策計画」の策定になる。

事務事業名	10-20 河川水路整備事業					部局名	建設部	所属課	土木課
施策名	10	快適でくらしやすい生活環境づくり				担当名	建設担当	課長名	角田和仁
法令根拠	河川法					個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	期間限定複数年度(H22年度～H29年度)	
	01	08	03	02	10	02			

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績)	
◇事務事業の概要と実績 生活用水路の機能が確保されるよう維持管理、修繕、改修を行う。 水路の維持修繕、改良工事(現地確認、設計積算、施工管理、検査引き取り) 準用河川の浚渫	◇主な事業費(単位:千円) ・工事請負費 7,930 ・公有財産購入費 187 ・補償費 949

(2) 総事業費の推移		単位	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算見込み)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	22,198	37,228	38,868	23,761	9,066
	事業費計 (A)	千円	22,198	37,228	38,868	23,761	9,066	
	人件費	正規職員延従事人数	人	0.30	0.50	0.50	0.50	0.50
	人件費計 (B)	千円	1,991	3,430	3,430	3,483	3,483	
トータルコスト(A)+(B)		千円	24,189	40,658	42,298	27,244	12,549	
補助事業等								

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載	
1次評価者【課長・局長】 厳しい予算のなか、地区要望に対応しながら効率的に対応していくには、充分な協議検討を行的確な優先順位と創意工夫により、事業を進めていく必要がある。	
2次評価者【部長・消防長・支所長】 生活用水路は、市民の生活環境に密接に関係している、地区要望を精査し、限られた予算のなかで効率的に施工を行う。	
(2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)	
目標 地区要望受付、関係部局調整、現地確認、用地取得、工法検討、設計積算、住民協議、施工管理 ● 目標どおり達成できた ○ おおむね達成できた ○ 達成できなかった	
予算の範囲内ではあるが、地区要望受付から関係部局調整等を経て、効率的に実施することができた。	

事務事業名	10-21 用地管理事業					部局名	建設部	所属課	管理総務課
施策名	10	快適でくらしやすい生活環境づくり				担当名	管理担当	課長名	標 博司
法令根拠	道路法、道路法施行条例、公共物管理条例、登記法等					個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)	
	01	08	01	02	10	01			

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績)

◇事務事業の概要と実績

法定外公共物の管理及び占用に伴う審査、調査、現場立会いを行う。
また、未登記不動産の解消を図る。

◇主な事業費(単位:千円)

報酬	2,640
共済費	394
旅費	26
需用費	549
委託料	8,675
公有財産購入費	790

(2) 総事業費の推移

		単位	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算見込み)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	6,870	8,616	8,659	6,777	7,610
		一般財源	千円	16,044	195	865	3,547	5,464
	事業費計 (A)		千円	22,914	8,811	9,524	10,324	13,074
人件費	正規職員延従事人数	人	2.30	2.30	2.30	2.30	2.30	
	人件費計 (B)	千円	15,261	15,778	15,778	16,020	16,020	
トータルコスト(A)+(B)		千円	38,175	24,589	25,302	26,344	29,094	
補助事業等		公共物使用料						

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載

1次評価者【課長・局長】

公共物の境界を正しく把握し、適正な管理をすることは、公共財産の保全に繋がり土地の有効活用にも有効である。今後も適切な管理を続けるとともに、未登記土地の解消を進める必要がある。

2次評価者【部長・消防長・支所長】

公共物の管理・占用審査等、未登記土地の解消は、公共財産を適切に管理する上で重要な事項で、今後も申請案件への対応、未登記土地の処理を進める。

(2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)

目標 未登記処理件数50件

○ 目標どおり達成できた ● おおむね達成できた ○ 達成できなかった

目標の未登記処理件数には及ばなかったが、相談を受けた未登記処理は行うことができた。

事務事業名	10-22 市営住宅維持管理事業					部局名	建設部	所属課	管理総務課
施策名	10	快適でくらしやすい生活環境づくり				担当名	総務住宅担当	課長名	標 博司
法令根拠	公営住宅法					個別計画	笛吹市営住宅長寿命化計画		
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)	
	01	08	05	01	01	01			

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績)	
◇事務事業の概要と実績 市営住宅を適切に管理し、住宅に困窮する世帯や定住世帯に対し良好な住宅環境を提供する。	◇主な事業費(単位:千円) 旅費 1 需用費 16,723 役務費 452 委託料 5,029 使用料及び賃借料 1,388 工事請負費 13,533 原材料費 14 負担金、補助及び交付金 18 補償、補填及び賠償金 176

(2) 総事業費の推移		単位	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算見込み)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	35,956	43,154	11,950	29,903	4,397
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	83,975	62,586	50,470	68,808	32,937	
		一般財源	千円	22,478	4,362	0	0	0	
	事業費計 (A)	千円	142,409	110,102	62,420	98,711	37,334		
	人件費	正規職員延従事人数	人	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	
	人件費計 (B)	千円	11,280	11,662	11,662	11,841	11,841		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	153,689	121,764	74,082	110,552	49,175		
補助事業等		社会資本整備総合交付金(地域住宅計画)・住宅等使用料							

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載	
1次評価者【課長・局長】 低所得者の住宅セーフティネットを確保し住宅困窮者に良好な住宅環境を提供するために、笛吹市営住宅長寿命化計画に基づき改修を行うとともに、年間を通して適切な管理を行う必要がある。今後も老朽化が進む市営住宅の維持管理を計画に基づき進める。	
2次評価者【部長・消防長・支所長】 住宅に困窮する低所得者にとって、重要な事務で笛吹市営住宅長寿命化計画に基づき改修等を行い、国、地方自治体が連携し事務を進める。	
(2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)	
目標 長寿命化計画に基づく修繕工事と定期的な設備点検及び環境整備を実施する。 ○ 目標どおり達成できた ● おおむね達成できた ○ 達成できなかった	
定期的な設備点検及び修繕などの環境整備は計画どおり達成できた。また、長寿命化計画に基づく「熊野堂団地外壁改修工事」は実施することができたが、「3団地の駐車場整備工事」は支障となる電柱の移設に不測の日数を要したため30年度実施事業となった。	

事務事業名	10-23 市営住宅四日市場団地建替事業					部局名	建設部	所属課	管理総務課
施策名	10	快適でくらしやすい生活環境づくり				担当名	総務住宅担当	課長名	標 博司
法令根拠	公営住宅法					個別計画	笛吹市営住宅長寿命化計画		
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	期間限定複数年度(H27年度～H30年度)	
	01	08	05	02	01	01			

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績)	
◇事務事業の概要と実績 老朽化した、旧石和四日市場団地、広瀬団地、長塚団地を新たに建替える石和四日市場団地に集約する。	◇主な事業費(単位:千円) 役務費 578 委託料 2,760 工事請負費 177,310 負担金、補助及び交付金 2,053 補償、補填及び賠償金 3,038

(2) 総事業費の推移		単位	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算見込み)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	7,683	25,998	71,908
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	31,800	107,800
		その他	千円	0	0	63,682	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	9,482	5,016	6,031	6,031
	事業費計 (A)	千円	0	0	80,847	62,814	185,739	185,739	
	人件費	正規職員延従事人数	人	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	人件費計 (B)	千円	0	0	6,860	6,965	6,965	6,965	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	87,707	69,779	192,704	192,704	
補助事業等		社会資本整備総合交付金(地域住宅計画)							

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載	
1次評価者【課長・局長】 低所得者の住宅セーフティーネットを確保し住宅困窮者に良好な住宅環境を提供するために、笛吹市営住宅長寿命化計画に基づき改修を行う。その1事業として老朽化した公営住宅を集約するものであり、平成30年の完成を目指し事業を進める必要がある。	2次評価者【部長・消防長・支所長】 四日市場団地は、笛吹市営住宅長寿命化計画に基づき補助事業を取り入れ建替えを行ない、平成30年度には完成となるが、他団地においても計画的に建替え、改善、廃止等検討を進める。
(2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)	
目標 建設工事、外構工事を発注し、平成30年6月の管理開始を目指す。	
○ 目標どおり達成できた ● おおむね達成できた ○ 達成できなかった	
全体計画どおり、平成30年6月の工事完成を目指し事業を進めている。しかしながら、外構工事については、建築主体工事等と施工場所が重複するため平成30年度の発注とした。	

事務事業名	12-36 公園維持管理事業					部局名	建設部	所属課	まちづくり整備課
施策名	12	憩いと癒しの空間づくり				担当名	都市整備担当	課長名	神宮寺 隆
法令根拠	都市公園法、笛吹市公園管理条例、笛吹市管理公園規則等					個別計画	笛吹市都市公園施設長寿命化計画		
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)	
	01	08	04	05	10	25			

1 現状把握 (PLAN) (DO)

(1)事務事業概要及び主な事業費の内訳(平成29年度実績)	
<p>◇事務事業の概要と実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の憩いと安らぎの場である公園施設が安全安心で常に快適に利用できるように適切な維持管理を行う。 ・公園26施設の維持管理を行うため業務委託及び指定管理者委託を行う ・公園使用申請の許可・調整を行う ・改修工事は藤壘の滝公園、みさか桃源郷公園、八代四ツ沢川砂防公園を行う 	<p>◇主な事業費(単位:千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需用費 5,286 ・委託料 51,967 ・工事請負費 5,234

(2) 総事業費の推移		単位	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算見込み)
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	1,717	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	3
		一般財源	千円	52,988	83,798	74,441	81,888
	事業費計 (A)	千円	52,988	83,798	76,158	81,891	63,952
	人件費	正規職員延従事人数	人	0.60	0.60	0.60	0.60
	人件費計 (B)	千円	3,981	4,116	4,116	4,179	4,179
トータルコスト(A)+(B)		千円	56,969	87,914	80,274	86,070	68,131
補助事業等		防災安全社会資本整備交付金事業					

2 評価 (CHECK) 妥当性・有効性・効率性評価を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION)

(1) 全体総括 ※1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価。議会事務局・農業委員会事務局については、1次評価に記載	
<p>1次評価者【課長・局長】</p> <p>・今年度予定していた3公園の修繕工事および各公園の保守管理業務委託及び指定管理者委託については適切に実施した。また、安全安心に利用していただくために、その都度の対応も行った。公園の利活用を進めるためイベント等の公園の使用許可についても適切な対応を行い、積極的に利用を進めていく。</p>	<p>2次評価者【部長・消防長・支所長】</p> <p>公園は、市民の憩いと安らぎの場として多くの市民が利用している、開設より年月も経過し老朽化も進んでいるため、快適に利用できるよう維持管理を行なっていく。</p>

(2) 平成29年度の目標に対する達成度(実績値等を明記のうえ下記に理由を記載)	
目標	八代ふるさと公園・石和小林公園・石和温泉駅前公園・みさか桃源郷公園・御坂路さくら公園の利用者数の前年比増
○ 目標どおり達成できた ○ おおむね達成できた ● 達成できなかった	
利用人数	八代ふるさと公園・石和小林公園・石和温泉駅前公園・みさか桃源郷公園・御坂路さくら公園
H28年度(4-12月)	24,100人 22,900人 41,300人 54,700人 14,145人 計 157,145人
H29年度(4-12月)	34,000人 22,700人 43,300人 54,240人 13,863人 計 168,103人
上記から全体では増となっているが3箇所が減となっているため達成できなかった。	